

百年後、地域に残る新しい羽衣伝説を—

この地域で、創り・育ち・進化し、
未来につながる文化を：

マリナートがそんな思いでスタートさせた
HAGOROMOプロジェクト。

新橋成で新曲というゼロからの挑戦です。
作曲家・佐藤容子の音楽を

箏・中井智弥と
マリimba・篠田浩美が奏でます。

そして、ダンス・平山素子との融合。
この三位一体であるからこそ表現できる

新・羽衣伝説とは—
天女が天に還る瞬間の強く儚い、
まさに神秘の舞。

この舞が百年後、清水の伝統芸能として
継承されますように。
さあ、この新しい歴史の始まりを
その目で見届けてください。

HAGOROMO 水鏡の天女

2015.2.23 mon.

【開場】14:30 — 【開演】15:00
【開場】18:30 — 【開演】19:00 ※1公演 約70分

プログラム

- プロローグ
「Trance-media I -Oracle- for Marimba and tape (2012)」
作曲:山本和智 演奏:篠田浩美(マリimba)
「花のように」 作曲:中井智弥 演奏:中井智弥(箏)
- 「HAGOROMO 水鏡の天女 ～神々の戯れと人間の欲望～」
作曲:佐藤容子 振付・ダンス:平山素子 演奏:中井智弥(箏)・篠田浩美(マリimba)

会場

静岡市清水文化会館マリナート 小ホール(JR清水駅直結)

入場料

全席指定 3,000円(税込) ※未成年入場不可 ※車椅子席はマリナートのみ取扱

主催・お問合せ

静岡市清水文化会館マリナート
☎054-353-8885 <http://www.marinart.jp>

【助成】芸術文化振興基金
【協賛】鈴与建設(株)、大成建設(株)、(株)東急コミュニティー、
ヤマハサウンドシステム(株)、(株)松村電機製作所、カヤバシステムマシナリー(株)

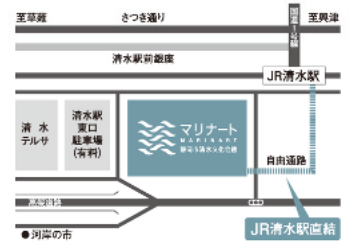


プレ公開講座 > 静岡文化芸術大学&静岡市清水文化会館マリナート 連携企画

「ホール・プロデュース論」×「HAGOROMO水鏡の天女」メイキング講座 ～身体×照明×プロデュース～
出演ダンサーと照明家による作品制作に向けたメイキングを初公開。作品の作り方を学びます。
【日時】2015年1月7日(水)13時～14時30分(終了は予定) 【定員】20名 【参加費】無料
【場所】静岡文化芸術大学 講堂(浜松市中区中央2-1-1:JR浜松駅徒歩15分) 【お申込】054-353-8885(マリナート)
【講師】平山素子(ダンサー・筑波大学体育系准教授)、御原祥子(舞台照明家)、永井聡子(静岡文化芸術大学准教授)

■マリナート(窓口+電話)	054-353-8885
■TANK!theWEB	http://www.sundayfolk.com
■サンデーフォーク静岡	054-284-9999
■チケットぴあ[Pコード:440-598]	0570-02-9999
■ローソンチケット[Lコード:43080]	0570-084-004

ACCESS MAP



HAGOROMO 水鏡の天女

神々の戯れと
人間の欲望

水鏡の天女

神々の戯れと
人間の欲望

富士山が世界文化遺産に登録され、静岡市清水の三保の松原もその構成資産として、
信仰と芸術の源泉であることが認められました。

世界にその名を知られただけでなく、三保の松原では毎年「薪能・羽衣」を開催しており、
地域では今もなお親しまれている風景です。

これを受けて、歴史の資産である「羽衣伝説」をモチーフに、

新しい伝統芸能としての「新・羽衣伝説 水鏡の天女」を企画しました。

歴史の再認識と223(ふじさん)の日の奉納行事として、開催するマリナートのオリジナル公演です。

富士山に寄り添うように佇む三保の松原を捉えた葛飾北斎、

モネやゴッホなどの絵画や羽衣伝説から生まれた能「羽衣」など日本人に人気の作品も数多く、

中でも能「羽衣」に魅せられ、道半ばで人生を閉じた

フランスの舞踊家エレーヌ・ジュゲラリス(1916-1951)の碑が三保に建てられるなど、

富士山と三保の松原は、我が国の芸術の近・現代を形成しただけでなく海外におけるジャポニズムを生んできました。

そうした歴史的背景を称え、羽衣伝説などから

「神婚」「異類婚姻譚」にインスピレーションを得ながら、

第一線で活躍するコンテンポラリーダンサー・平山素子さんを迎えたダンス公演を企画しました。

平山さんの人間性を超越した豊かな身体表現と、作曲家・佐藤容子さんによる

和と洋の音楽的要素を融合した独舞をお楽しみください。演奏には、箏・中井智弥さん、

マリンバ・篠田浩美さんと、気鋭の音楽家加わり、現代における新しい天女像を描きます。

企画プロデューサー：永井聡子(静岡文化芸術大学准教授)

振付・ダンス

平山 素子 Motoko Hirayama

舞臺さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、
近年は振付家として活躍の場を広げている。06年ポリシヨイ劇場バレエ団にて「Revelation」を
S・ザハロワに提供、新国立劇場公演07年「Life Casting-型取られる生命-」で
朝日舞台芸術賞、08年「春の祭典」で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。
ソロ活動としても国内外のアートフェスティバルで作品発表を行う一方、
シンクロナイズドスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手の指導を手がける等活動は
多岐にわたる。洗練されつつ開拓心を失わないアーティストとして
日本のダンスシーンをリードする存在である。筑波大学体育系准教授。
<http://www.motokohirayama.com/>



箏

中井 智弥 Tomoya Nakai

箏・二十五絃箏奏者 作曲家

東京芸術大学音楽学部邦楽科を卒業。

日本の伝統音楽をより身近に感じていただくため、
二十五絃箏奏者・作曲家としてジャンルを超えた活動を行っている。
NHK教育テレビにて「おかあさんと一緒」「花鳥風月堂」等に出演。
国際交流基金海外公演主催事業や外務省より文化使節として
海外演奏経験も豊富で「古典と現代の融合」をテーマに
国の文化交流を行っている。民間としても日本の文化を広めるため、
「JAPAN TRADITIONAL ARTS ACADEMY」を設立。

<http://www.tomoyanakai.com/>



マリンバ

篠田 浩美 Hiromi Shinoda

東京芸術大学打楽器科卒業。現在はソロ、アンサンブル、
オーケストラとジャンルを問わず活動中。

またRolandの電子パーカッションやシンセサイザー、
電子ピアノのデモンストレーター、さらにはUSTREAM番組の司会など
活動の場を広げている。幼児教育にも精力的でリトミックの
チーフインストラクターも務める。

2014年3月、伊福部昭作曲「ラウダ・コンチェルタータ」における
パフォーマンスは「燃えるような演奏にれぞ叫びと祈りの実現」と
形容された。神々しさと怒濤が同時に押し寄せるマリンバソロを
高く評価される若手奏者。

<http://www.moto-music.co.jp/hiromi/>



作曲

佐藤 容子 Yoko Sato

東京音楽大学作曲専攻卒業。2008年より2013年まで
米国イースト・ウエストセンターにて大学院生研究員。

2014年ハワイ大学音楽学部作曲科博士課程修了。
作編曲家として、邦楽、アジア民族楽器、室内楽、古楽作品、教会音楽の
作編曲の他、舞台芸術作品や児童演劇の音楽にも携わる。

平山素子氏とのコラボレーションは、
'06年知立市文化会館委嘱現代舞踊公演「雪女」、
'08年知立市文化会館委嘱演劇公演「水の宿」に続いて3回目となる。

<http://yokosatomusic.wordpress.com/>



STAFF

企画プロデューサー] 永井 聡子

照明] 御原 祥子

美術] 杉山 至

音響] 上野 慶(トゥー・センス)

衣裳] 堂本 教子

ヘアメイク] 上田 美江子(Mieko Ueda STUDIO)

舞台監督] 大蔵 聡子(トゥー・センス)